

同窓会報

2020年(令和2年)
12月発行
須知高等学校
同窓会



編集長
中西和之

日頃は、我が母校須知高等学校並びに同窓会の活動に温かい御支援をいただき、心からお礼申し上げます。

さて、本年はコロナ禍の中で、感染予防のため、役員総会を中止し書面表決により諸議案の承認を得たところで、また、例年母校に熱いエールを送っていた東京支部の総会も中止されたところです。

更に、母校須知高校においても3月から5月末まで休業となり再開後も消毒、三密の回避の徹底等かつてない状況にあり、同窓会といたしましても母校の諸行事、諸活動への出席を自粛させていただきます。

一方、本年度の入学選抜からホッケー部生徒を全国から募集することになり、1名の生徒が他府県から入学しました。ホッケー部はもとより部活動の活性化と定員確保、更には京丹波町のホッケーの発展につながるものと期待しています。

今、母校須知高校は、全校生徒172名という定員確保に極めて厳しい現況にあり、この状況をチャンスに変え「須知高校だからできること、須知高校にしかできないこと」を大切に、明日の地域を担う有為な人材の育成に教職員一丸となり努力いたしていきます。

こうした中で、ホッケー部が、男子・女子それぞれ「全国高等学校選抜ホッケー大会」に揃って連続出場するという快挙を達成しました。ネット配信され、熱い声援を送った夏の大会に代わる夏季京都府高等学校野球ブロック大会で、かつて部員不足で危機にあった野球部が、3回戦に進出する活躍を見せてくれました。

また農業クラブが、日本菊花全国大会へ出場し、福助花壇が日本一となる国土交通大臣賞を受賞し、更に全国農業



校長
湯川 佳秀

同窓会の会員の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は、本校の教育活動の推進に格別の御協力と御支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、今年度はコロナ禍により年度当初から臨時休業となり、多くの学校行事が延期や中止又は内容変更を行わざるを得なくなりました。この間、会員の皆様をはじめ、生徒、保護者の皆様や地域の方々にも大変ご心配をおかけしていることと思ひます。学校として、学習保障と感染予防の両立を努めながら、できる限り授業時間数を確保しつ

つ、生徒たちの思い出に残る行事が実施できるよう、保護者の皆様をはじめ関係機関とも協議をして各種行事を実施して参りました。2年生の研修旅行につきましても、行き先を沖縄方面から金沢・信州方面に変更しましたが、生徒たちの楽しんでる姿を見て安心したところです。

このようなコロナ禍の中でも、生徒たちが素晴らしい成績を収めてくれました。硬式野球部は夏季高校野球京都府ブロック大会において惜しくも3回戦で敗退しましたが、3年生全員が試合でヒットを打つことができた。さらに、男女ホッケー部ともに全

窓会報」発行等に取り組んでいるところですが、今後とも母校須知高校の発展並びに同窓会の活動に御支援をお願いするとともに皆様の御健勝をお祈りし、ごあいさつとさせていただきます。

進路指導部だより

進路指導部長 田中 重則



前例のない進路指導を経験して

今春大学進学を果たした多くの若者たちが、入構制限によってキャンパスに立ち入れない日々が続いていると聞いています。非常に残念なことですが、夏前からオンライン・リモートによる授業が導入され、対面式授業が成立しにくい状況であるにもかかわらず、後期が始まったにもかかわらず、コロナ禍の影響が大きく影を落とす

ていると伺っています。今年は、社会そのものがこれまで想定すらできなかった変化を私たちに突きつけている年となりました。

高校現場に目を向けますと、6月から2ヶ月遅れで学校再開となり、進路指導においては大変厳しいスタートとなりました。就職選考日の1ヶ月後倒しが発表されたものの、例年なら7月から応募前職場見学が実施できていたところ、事実上お盆前の8月第1週である程度おさめなければならぬというのが現実でした。

また、進学については、大学入試改革の元年度の年としてスタートを切るはずでしたが、大学入学共通テストの例措置を含む日程追加による混乱、それに先立つ全国一斉の意向調査導入や調査書フォームの不徹底、活動実績報告を集約し大学に送る業務を司っていたはずのJAPANESE portfolioの突然の運用停止など衝撃的なニュースがいくつも飛び込んで参りました。

長年、進路指導を預かってきた私自身、過去の経験と照らし合わせていると、困難な状況が続いてきた。進路指導部長が構成する京都府進路指導研究協議会(進指協)の全体会も一度も開催できていません。そうしたなかにおいて、我々教員サイドはもちろんのことですが、生徒や保護者の方々の、不安や動

揺を抑え、冷静に対応していただいていることに感謝の念を禁じ得ません。進路指導上の、例えば書類上のミスであったり不手際は決して許されることではありません。例年以上に今年は、生徒に不利になることがないよう最大の注意を払い業務に当たって参りましたし、須知高校一丸となったこの難局を乗り越えなければという強い思いでここまで来たのも偽る直直な気持ちです。生徒の皆さんは、本当によく頑張ってくれています。

「ピンチをチャンスに」という言葉のもと、新たな本校独自の取組の口火を切ったのが「スタディサプリ」全員導入です。京都府の助成のもと、5月連休明けに172名生徒全員が登録を完了し、メンタセージ機能、アンケート等未だの教育活動を始める土台を築くことが出来ました。生徒の皆さんひとりひとりが自分の進路目標を掲げ、やるべきことを心に秘めてこの新たなシステムを使ってくれていることに素直に嬉しい気持ちでいっぱいです。手持ちのスマホはもとより、パソコンやタブレットなどの端末からいつでもどこでも須知高校ページにアクセスでき、これまでの学校とはまた違う教育活動、学習に参加できることとなりました。次年度以降もこのシステムを積極的に活用し、生徒ひとりひとりに寄り添う学

新入生紹介



食品科学科 1年生
水谷 百 花
兵庫県丹波篠山市立丹南中学校出身

「須知高校でホッケーがしたい」と思った私は、須知高校初試みである全国募集を受験しました。実家を離れ、下宿も勉強も友人関係などの環境がガラッと変わり、入学当初はとても不安でした。特に今年はコロナ禍のため入学から色々なことが無かったり、遅れていて不安は募るばかりでした。日が経つにつれ、少しずつクラスにも友達ができ、心にゆとりを持てるようになりました。下宿や部活動にも慣れてきて、今は学校生活がとても楽しいです。

須知高校の特色である食品科学科では農業について専門的なことを学んでいます。例えば1年生の間では、野菜の生育などをしていて命の大切さなどを教わっています。また、色々な資格取得にも挑戦ができ、将来に役立つ学習ができていると思います。

学校生活を送る上でも特に私の楽しみは「部活動のホッケー」です。色々な高校の部活動を見学しましたが、その中でも須知高校のホッケー部は、一等星の目を惹きました。

現在、先輩たちからは多くの技術やホッケーに対する気持ちなどを学ぶことができ、同級生とも少しずつ馴染めてきて本当にホッケーを楽しめるチームでプレーができています。

フォトニュース



入学式



1 年生 校外学習



2 年生 研修旅行



3 年生 須高お笑いまつり2020

須知高校アンケート結果

- 調査回答総数(京丹波町内小中学校)
(1) 小学校5・6年生の保護者 123名(67%の回答率)
(2) 中学校全学年の生徒 285名(96%の回答率)
(3) 中学校全学年の保護者 205名(75%の回答率)
 - 調査結果概要(主な項目を抜粋)
- 保護者(328名)の回答より
 - 須知高校の特長(特徴的な取組について(複数回答あり))
少人数授業 32%、農業・食品の学習 64%、京丹波町との連携 35%
 - 須知高校のイメージ(主な意見)
自然が豊富で敷地が広い、地域密着、母校、伝統ある地元の高校
 - ホッケーと農業(食品加工)、資格取得、少人数授業
 - 生徒数・部活動数の減少、交通が不便
 - 学力面での課題(特に四年制大学への進学実績)
 - 須知高校に期待すること
 - 部活動の充実、少人数授業、他校にない特色ある学科・コースの設置
 - 寮、学校食堂、スクールバスの設置、制服の変更、資格取得の充実
 - 学力充実(基礎学力の定着、難関大学への進学率向上、英語力の向上など)
 - 中学生(285名)の回答より
 - 須知高校の特長(特徴的な取組について(複数回答あり))
少人数授業 33%、農業・食品の学習 81%、京丹波町との連携 10%
 - 須知高校のイメージ(主な意見)
ホッケーが強い、農業(食品加工、動物)の学習ができる
 - 自然が豊富で敷地が広い、親の母校、兄弟が通っている、家から近い
 - 生徒数・部活動数が少ない、少人数授業
 - 須知高校に期待すること
 - 部活動の充実、生徒数の増加
 - 制服の変更、食堂の設置、楽しい学校生活

須知高校先輩から

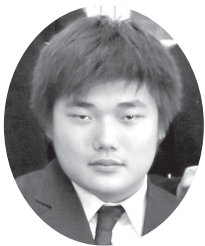
3年間を振り返って



平成30年卒
西田 有希

私が須知高校を卒業してもうすぐ3年が経ちますが、今でも須知高校での学校生活は鮮明に覚えています。食品科学科で普段経験できない貴重な経験をし、充実した生活を送ることができて本当に良かったと感じています。仲間と共に協力して行った実習や学校行事など須知高校で学んだ3年間はとても掛け替えのない思い出です。そんな様々な思い出のなかで印象に残っていることが2つあります。1つ目は、3年生の時に出場した意見発表大会です。人前に出ることが苦手だった私は、代表として選ばれた嬉しさ以上に不安ばかりを感じていました。発表に向けて何度も練習を繰り返すと思うようにいかず、悩み苦しむ時期がありました。

高校生活を振り返って



令和2年卒
山口 絃弥

私は絵を描くことが好きだったので、高校入学後すぐに木目会（美術部）に入部しました。高校1年生の時に、部員全員で爪楊枝での作品を制作しました。爪楊枝に色をつけ表現するには、とても根気が必要でした。高校2年生の時は、マンガ甲子園という大会に応募し、私たちの作品が選ばれた

高校生活を振り返って



令和2年卒
室 幸作

現在私は、滋賀大学経済学部経済学科に所属しています。大学では、現代経済学基礎や統計学など、経済学を学ぶ上での基礎を学習しています。オンライン授業ではありますが、私が学びたいことを学べているので、これからさらに専門的な経済学の知識を身に付けられるよう頑張りたいです。

はとて親身になって相談に乗ってくださいました。進路を決めてからも小論文や面接練習などの指導を丁寧に行ってください、時には厳しい言葉もかけてくださいました。お世話になった先生方には本当に感謝しています。悩んだ時にはいつも側で支え、見守ってくれた先生方がいてくださるということは何よりも励みになると思います。

作品作りに力を注ぎました。部員が一人となって仕上げた作品は、先生方や保護者の方からも高評価をえることができた、思い出多く貴重な体験が出来たクラブ活動となりました。

大学進学後も、美術系のサークルに入部したく楽しみにしていたのですが、新型コロナウイルスが流行したため、前期授業はなくインターネットの学校のサイトでの入部募集となったため、実際に活動風景を見てから判断したので今回の入部は諦めました。夢を膨らませ入学した大学は、新型コロナウイルスの流行のため入学式もなくとても残念でした。また、対面授業からオンライン授業となり

いた小論文の添削などの指導もしていただきました。また、面接対策では、面接の練習を複数の先生にいただいたかったです。苦手意識のあった面接ですが、本番でもしっかり話すことができたと思います。私は先生方の熱心な指導のおかげで合格できました。須知高校は人数が少ないですが、その分先生方の指導がしっかり行き届くことが良さだと思います。

また、私は硬式野球部に所属していました。3年間野球部の活動を頑張ったことは、推薦の出願の際にも書くことができましたし、自分の自信にも繋がったと思います。部活動でなくとも高校の活動に



須知高校誕生秘話と
高原の鐘の発見について

地理歴史・公民科教諭 辻垣 晃一

今年度は新型コロナウイルスの関係で、一堂に会して取り組む大きな行事は、軒並み断念せざるを得ない状況となりました。毎年11月1日の開校記念講演会も該当する卒業生の貴重なお話を伺う機会を持ってないことは大変残念ですが、須知高校の古い歴史を全校生徒が一斉に学ぶ機会をもてたらとのお話を頂戴し、実現できるような就職活動に取り組んでいます。須知高校で学んだことを糧に残りの大学生活や社会人になってからも頑張っていきたいと思っています。

最初はパソコンの使い方がわからなかったのですが、日に慣れました。また、動画の配信もあり、対面授業にはない経験となりました。後期授業は、対面授業が主となります。個人個人が気を引き締め、コロナ対策をしっかりと行い、大学生活を楽しみたいと思います。私は大学で、心理学を学びます。小学生の頃から本を読むことが好きだったので私は、幅広いジャンルの本を読んでいたため、大学受験の面接や作文にも役に立ちました。悩みを抱え、一人で悩んでいる人たちの話を聞き、少しでも心の負担が軽減できる手助けが出来るように頑張りたいと思います。

硬式野球部の活動状況について

硬式野球部監督
保健体育科教諭 長谷川 靖

日頃より、須知高校同窓会の方々をはじめ、地域の皆様から温かく熱烈な応援をいただいております。ことに心より感謝申し上げます。特に、硬式野球部のOBの方々は部の活動に対して多大なる御支援をいただいておりますことを重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響で本年度は春夏ともに甲子園大会が中止となる異例の年となりました。京都府の大会も春季大会ならびに夏の選手権大会も中止となりました。大会で勝利することを目指して練習に励んでいた生徒達には受け入れ難い現実でした。また、毎年球場へ応援に駆けつけていただいております同窓会員の皆様に部員達の晴れ姿を観ていただくことが叶わず残念でなりません。しかし、部員達は腐ることなく自分たちのできることに地道に取り組み気持ちを繋いでいくことができました。そして、代替大会として開催されることになった「夏季京都府高校野球ブロック大会」を新たな目標に、部活動再開後は新入部員6名を加えた総勢23名で毎日の練習に明るく前向きに取り組むことができました。迎えた大会は初戦で東稜高校に3対2で勝利し、代替大会ではありますが夏の大会で久々に校歌を聴くことができました。続く2回



戦は西京高校と対戦。投打がかみ合い6対0で勝利しました。3回戦では京都文教高校と対戦。苦しい試合展開の中よく粘りましたが5対1で敗戦しました。負け代は残念でしたが、試合中に見せる生徒の爽やかな笑顔と試合後の清々しい表情から、3年間部活動をやった充実感と満足感を感じることができました。大会は無観客試合で実施されたため、球場での観戦はできませんでしたが、インターネットによるライブ配信を利用し沢山のの方に応援いただいております。大会期間中も多くの激励をいただいたことが力となっていたことは言うまでもありません。

新チームは13人となり、部員数は大きく減少しましたが、先輩方が築いてこられた栄光と伝統にふさわしいチームとなるよう日々の練習に頑張っています。過日実施された秋季大会では京都外大西高校に初戦で敗れましたが、来年の大会を目指し日々の練習試合やトレーニングに懸命に取り組んでいるところです。今後とも須高球児に熱い御声援をお願いします。

TEL 0771-811171
(同窓会係)



(敬称略)

京都府立須知高等学校同窓会
令和二年度 役員名簿

会長	中西 和之	高17	京丹波町
副会長	片山 俊明	高21	京丹波町
庶務	木久三子	高22	京丹波町
計	松野 堯俊	高15	京丹波町
監査	由良賀代子	高20	京丹波町
顧問	坂本 勇雄	高17	京丹波町
幹事	岩崎 弘一	高26	京丹波町
	永口 茂治	高21	南丹市
	藤田 義幸	高24	京丹波町
	上田 秀男	高8	京丹波町
	横山 義雄	高13	京丹波町
	塩瀬 正明	高19	東京都
	長澤 秀典	高18	福知山市
	上田 清和	高26	亀岡市
	田中 宏明	高25	京丹波町
	桐野 正則	高28	京丹波町
	北村 勝	高15	京丹波町
	寺井 行雄	高22	京丹波町
	樹山 静雄	高26	京丹波町
	湊 昌平	高15	京丹波町
	岡 雅之	高24	京丹波町
	一井 公子	高16	京丹波町
	太田 昌和	高39	京丹波町
	吉田 晴美	高23	京丹波町
	上田 隆司	高16	京丹波町
	西田 明範	高22	京丹波町
	森 峯子	高16	京丹波町
	上田 雅信	高23	京丹波町
	庄林 藤夫	高定16	京丹波町
	清水淳之助	高22	京丹波町
	谷 碩子	高15	京丹波町
	森田 一三	高21	京丹波町
	吉田 正美	高22	南丹市
	塩貝 義久	高27	南丹市
	出野 宏幸	高36	南丹市
	中尾 達也	高33	京丹波町
	江本 正昭	高19	京丹波町
	榎本 藤雄	高19	京丹波町
	福井 隆	高19	京丹波町
	長谷川 靖	高35	南丹市
	佐藤 庸平	高45	京都市